

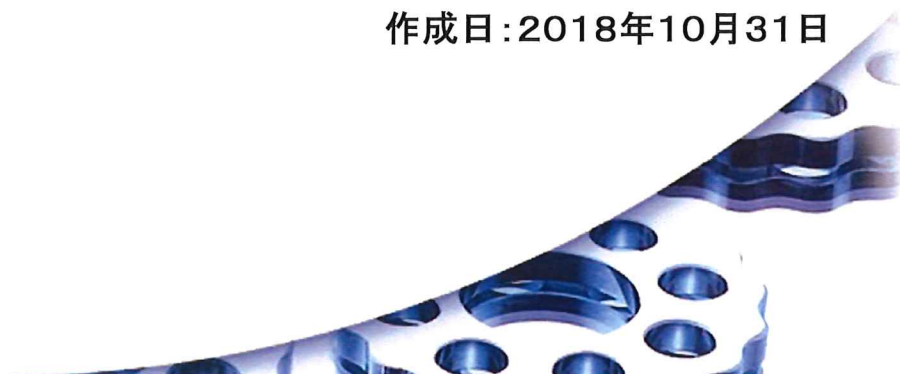
# 環境活動レポート

(期間 2017年9月～2018年8月)



## 広和機工株式会社

作成日:2018年10月31日



# 広和機工株式会社

## 環境方針

### 《基本理念》

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の最重要命題であり普遍のテーマであると考えています。

産業機械・設備の要である変・減速機・制御機器の販売とメンテナンスを主体とした事業活動を通じて、省資源、廃棄物の抑制等、環境にやさしい企業活動を行なうことを約束します。

### 《行動指針》

(1)私たちは、以下の行動指針に基づき、全社員が環境に配慮した環境保全活動を行ないます。

- ①事業活動から生じる電力・自動車燃料の消費に伴うCO<sub>2</sub>排出量の抑制に取り組みます。
- ②事業活動における原材料の省資源、水使用量の削減、有害な化学物質の削減に取り組みます。
- ③環境に関連する法規制・地域条例及び自主的な基準の要求事項を明確にして遵守します。
- ④廃棄物の削減及び分別等によるリユース・リサイクルの推進を行ないます。
- ⑤グリーン購入を推進し、環境負荷の低減に努めます。
- ⑥会社周辺の環境保全、清掃活動を行ないます。

(2)環境指針は、全社員に周知を図り、社会情勢や環境の変化に応じて見直しを行ないます。

私たちの環境方針は、広く一般の人が閲覧・入手可能なように公開します。

平成22年6月28日  
広和機工株式会社  
代表取締役

余越剛吉

## 【組織の概要】

(1) 名称及び代表者名

広和機工株式会社  
代表取締役社長 余越剛吉

(2) 所在地

本社 広島県廿日市市木材港北3番28号  
宇部事業所 山口県宇部市大字棚井字門田501-5  
広島営業所 広島県広島市佐伯区八幡東四丁目31番11号  
南九州事業所 熊本県八代市三江湖町2279-3

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者 向井秀城  
連絡先 環境事務局 中村貴恵  
TEL 0829-32-3201 FAX 0829-32-3204

(4) 事業内容

変減速機等の一般機械機器の卸売及び関連商品の修理  
主要製品: 変減速機・モーター・ブロワー・油圧モータ

(5) 事業の規模

売上高 2402百万 (2017年9月～2018年8月)  
(内サービス売上高 443百万)

	本社	宇部事業所	広島営業所	南九州事業所
従業員	30名	10名	1名	4名
延べ床面積	1100㎡	352㎡	30㎡	400㎡

(6) 事業年度 9月～8月

(7) 認定・許可事項(平成25年1月現在)

【本社】建設業許可 国土交通大臣 許可(般-28)第24251号 機械器具設置工事業  
【広島営業所】ひろしまエコ事業所認定

## 【認証・登録の対象組織・活動】

登録組織名 広和機工株式会社

関連事業所 宇部事業所

広島営業所

活動 変減速機等の一般機械機器の卸売及び関連商品の修理

注) 2017年4月3日に正式に運営を開始した南九州事業所は、事業や業務が安定した時点(3年以内を目標)でエコアクション21の導入を行う。



## 【環境目標とその実績】

(1)環境目標 ☆中期目標値☆

環境項目		年度 単位	2012年度	2017年度	2018年度	2019年度
			基準値 (実績)	目標	目標	目標
《二酸化炭素排出量》	目標削減率		—	-5%	-6%	-7%
電力の削減	使用量	kWh	87,105	82,750	81,879	81,008
	CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	57,229	54,365	53,795	53,223
自動車燃料の削減	目標削減率		—	3%改善	3%改善	3%改善
(ガソリン車、軽油車燃費改善)	燃費	ガソリン km/ℓ	14.1	14.5	14.5	14.5
		軽油 km/ℓ	8.0	8.3	8.3	8.3
《廃棄物排出量削減》	目標削減率		—	-3%	-3%	-3%
一般廃棄物の削減	廃棄量	kg	5,710	5,539	5,539	5,539
産業廃棄物の削減	目標削減率		—	-3%	-3%	-3%
	廃棄量	kg	6,480	6,286	6,286	6,286
《排水量削減》	基準料金内での使用		—	基準料金内	基準料金内	基準料金内
水道水の削減		円				
《環境配慮資材購入》	全購入品に対する比率		—	80%	75%	75%
事務用品のグリーン購入		%				
《社会貢献活動》	会社周辺の清掃		—	定期的な清掃	定期的な清掃	定期的な清掃
	社会貢献活動の実施			年1回献血	年1回献血	年1回献血
《化学物質削減》	取扱い使用量が微量のため削減は難しいが適正に使用管理、定期的な確認を行う		—	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認	適正に管理 使用確認
《自らの事業活動による環境への取組》 環境配慮製品の拡販	旧型使用客先から高効率モーターへの切替促進活動	社	—	年150台更新切替	年150台更新切替	年150台更新切替

※年度は営業年度(9月から8月)の数値

※数値は全社を表す。

※電力CO<sub>2</sub>排出係数は温対法でH24年度報告に使用される数値0.657(中国電力)を使用します。

※電力に関する数値のみ広島営業所を含む。

※燃費改善目標と一般廃棄物削減目標の目標値は現状を鑑み2015年の数値を2017年度も引き継ぎ取組を行う。

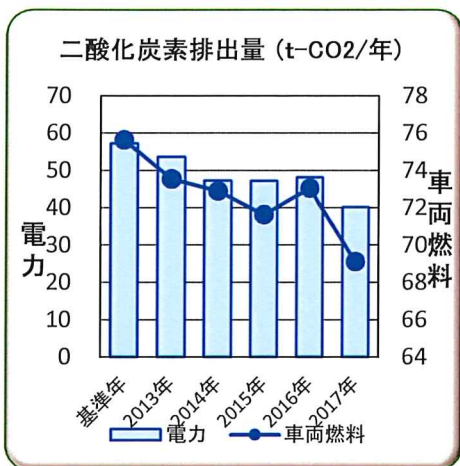
※産業廃棄物に関しても削減取組を2014年度より行うこととしました。

※「自らの事業活動による環境への取組」については今後IE3モーターは必要項目となるため、2014年度からは『旧型使用先から高効率モーターへの切替促進活動』として活動を致します。

# 【環境目標とその実績】

## (1)2017年度 環境目標達成状況

環境項目		年度 単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2017年度	評価
			基準年 (実績)	実績	実績	実績	実績	目標	実績	
二酸化炭素排出量	電力の削減	対基準年度削減率	—	-6.2%	-17.3%	-17.4%	-15.8%	-5%	-29.8%	○
		使用量	kWh	87,105	81,741	72,036	71,933	78,273	82,750	
	CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	57,229	53,704	47,328	47,260	48,194	54,365	40,172	
自動車燃料の削減 (ガソリン車、 軽油車燃費改善)	対基準年度燃費結果		—	ガ3.0%改善 軽3.0%悪化	ガ13.5%改善 軽3.7%悪化	ガ14.2%改善 軽2.5%改善	ガ15.6%改善 軽3.7%悪化	3%改善	ガ15.6%改善 軽3.7%悪化	△
		燃費 ガソリン	km/ℓ	14.1	14.5	16.0	16.1	16.3	14.5	
	燃費 軽油	km/ℓ	8.0	7.8	7.7	8.2	7.7	8.2	8.0	
	CO <sub>2</sub> 排出量	kg-CO <sub>2</sub>	75,641	73,552	72,908	71,632	73,053	—	69,122	



二酸化炭素排出量年度推移表 (単位kg-CO<sub>2</sub>)

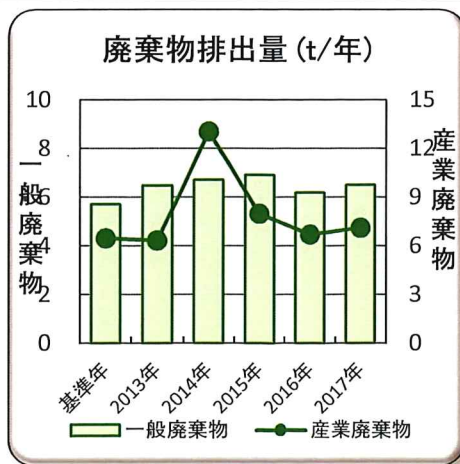
	基準年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
電力	57,229	53,704	47,328	47,260	48,194	40,172
車両燃料	75,641	73,552	72,908	71,632	73,053	69,122

主な要因

☆宇部事業所の倉庫新設に伴い電気使用量UP

現在、電力供給業者の選定(本社はリコーへ変更後大幅にCO<sub>2</sub>排出量減少)

環境項目		年度 単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2017年度	評価
			基準年 (実績)	実績	実績	実績	実績	目標	実績	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	対基準年度削減率	—	11.3%	17.5%	20.8%	8.2%	-3%	13.8%	×
		廃棄量	kg	5,710	6,470	6,710	6,900	6,180	5,539	
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	対基準年度削減率	—	-2.1%	201.1%	23.3%	3.4%	-3%	9.8%	×
		廃棄量	kg	6,480	6,345	13,033	7,992	6,703	6,286	



年度推移表 (単位kg)

	基準年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
一般廃棄物	5,710	6,470	6,710	6,900	6,180	6,500
産業廃棄物	6,480	6,345	13,033	7,992	6,703	7,113

主な要因

☆倉庫新設や工場設備入替等で廃棄物が増加

☆一般廃棄物の増加は従業員数増加も影響あり

## 【環境目標とその実績】

### (1)2017年度 環境目標達成状況

環境項目		年 単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2017年度	評価
			実績	実績	実績	目標	実績	
《排水量削減》 水道水の削減	基準料金内での使用		基準料 金超過	基準料 金超過	基準料 金超過	基準料 金内	基準料 金超過	×
《環境配慮資材購入》 事務用品のグリーン購入	全購入品に対 する比率	%	67%	67%	61%	80%	61%	×
《社会貢献活動》	会社周辺の清掃 社会貢献活動の実施		定期的に実施 H26.11.1 3実施	定期的に実施 H27.11.1 2実施	定期的に実施 H29.3.24 実施	定期的な清掃 年1回献血	定期的に実施 H30.3.29 実施	○
《自らの事業活動による環境への取組》 高効率モータ付減速機の販売	旧型使用客先 から高効率モ ーターへの切替 促進活動	社	製品パン フ配布 175社	年間更 新312台 切替	年間更 新372台 切替	年間更 新150台 切替	年間更 新476台 切替	○
《化学物質削減》	取扱い使用量が微量のため削減は難しいが適正に使用管理、定期的な確認を行う		適正に管理 使用を 確認	適正に管理 使用を 確認	適正に管理 使用を 確認	適正に管理 使用を 確認	適正に管理 使用を 確認	○

#### ☆清掃活動

定期的な会社周辺での清掃活動実施

#### ☆献血活動

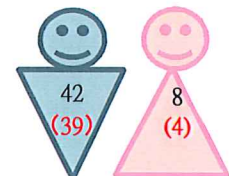
今期で6年連続実施！

開催の度に近隣会社の皆さまにも周知され年々参加者の人数が徐々に増えて皆さまの御協力をいただいています。

#### 《献血状況》

※参加者 50名(男性42名、女性8名)

★献血者 43名(男性39名、女性4名)



## 【環境活動の取組計画と評価】

取組計画	達成状況	評価(結果と次年度の取組み)
<b>電力の削減(kg-CO<sub>2</sub>)</b> ①エアコン、照明機器の定期的な清掃 ②パソコン省エネ設定を行う ③エアコン設定(冷房28℃、暖房20℃) ④クールビズ・ウォームビズの徹底 ⑤水曜日6時半退社	目標 -5% 実績 -29.8%	全社では目標達成できた。ただし、宇部事業所においては倉庫新築により使用場所の増加、また業務も好況により繁忙となり達成できなかった。 今夏のような猛暑の状況によっては、体調管理を最優先として設定温度を適正温度に設定し使用する必要がある。その上で不要な使用を削減するよう周知徹底していきたい。 照明機器等の清掃は定期的に行っている。
<b>自動車燃料の削減(kg-CO<sub>2</sub>)</b> ①朝礼時に安全運連10か条の呼掛け ②エコドライブ運転の推進 ③定期的なタイヤの空気圧チェック ④不要な荷物を載せない ⑤週一回のノルマ-DAY実施	目標 燃費 ガソリン車 14.5km/ℓ 軽油車 8.2km/ℓ 実績 燃費 ガソリン車 17.5km/ℓ 軽油車 8.0km/ℓ	目標は繁忙にもかかわらずほぼ達成できた。 社内の5S委員の定期的な監査により車内の不要な物の整理や各部内でのエコ運転の周知により燃費の向上に効果が表れている。 交通安全週間や長期休暇前には全社員に向けた運転注意喚起を行っている。
<b>一般廃棄物の削減(kg)</b> ①個人毎のコピー枚数把握のため管理 ②梱包材削減のため事務用品をまとめて購入 ③電子メールの活用 ④会議資料はプロジェクターを利用	目標 -3% 実績 13.8%	目標には未達であったが、各取組に留意し通常業務においては削減に繋がるように会議でのプロジェクター使用、集約コピー等努力している。今後も全社員に取り組みが習慣化されるよう更に周知を促す必要がある。
<b>産業廃棄物の削減(kg)</b> ①適正に管理破棄を行う	目標 -3% 実績 9.8%	目標は未達であった。 以前からの要因である製品の梱包材の廃棄が多く占めるが今期は宇部事業所に倉庫を新築したため不要なものの整理も同時に行われた事も要因となった。梱包材については取引先への協力が必要であり改善要請を行う。
<b>水道水の削減(m<sup>3</sup>)</b> ①節水活動の呼びかけ ②蛇口を全開にして使用しない	目標 基準料金内使用 実績 基準料金超過	目標は未達であった。 前期同様に夏場の作業着を洗濯するため使用量が増えてしまい通期評価に影響がでてしまった。節水を心掛けて蛇口のチェックや張り紙による周知も継続して行っていく。
<b>事務用品のグリーン購入(品目)</b> ①環境ラベル認定品の購入徹底 ②再生紙利用の購入徹底	目標 全品目中80% 実績 全品目中61%	今期も継続してグリーン購入を推進実施したが、目標は未達に終わった。都度使用する事務用品については徹底されている。 今後も継続し、グリーン購入を徹底していきたい。
<b>社会貢献活動</b> ①会社周辺の年3回の清掃 ②年一回の献血	目標 3回/年 実績 本社 年3回 宇部 月1回	定期的に会社周辺清掃活動実施。宇部事業所では近隣の除草作業を行い地域に貢献した。また例年実施している献血活動も継続実施でき周辺企業の皆様にご協力いただいた。 広島豪雨災害での復旧修繕において客先より感謝状をいただき繁忙の中での励みになった。
<b>高効率モータ付減速機の販売</b> ①PTC資料をもとに促進活動及び切り替え促進	目標 150台/年 実績 476台/年	全社一丸となって客先への継続的な拡販発動により目標達成。 客先からの切替えによる不備やクレームもなく順調に拡販できた。今後も拡販活動を継続し促進していきたい。
<b>化学物質の削減</b>		適正に管理し保管している。

【各活動風景】

(油漏れ対応訓練の様子)

油吸収対応マットや専用洗剤を実際に使用した訓練



(地域清掃活動の様子)



除草作業風景





## 【環境関連法規の遵守状況】

当社に適用される環境関連法規は下表のとおりであり、これら法規への違反はありません。  
なお、訴訟および関係当局より違反等の指摘も、過去3年間ありません。

適用される法規制	適用される事項	評価
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の適正処理委託	違反なし
騒音規制法	設置機器等の届出	違反なし
振動規制法	特定施設の届出で、基準の順守	違反なし
浄化槽法	届出および定期点検	違反なし
消防法	潤滑油・灯油適正管理	違反なし
道路交通法	社用車20台以上を使用	違反なし

## 【代表者による評価】

近年、温暖化は加速度的に進行しています、自然災害の脅威は年を追うごとに激しくなり地球規模の環境破壊に発展する大きな警鐘としてのしかかっています。

地域社会に社業、生活の糧を求め一員として、我々は例え小さな一歩であろうともCO2削減を念頭に、英知を働かせ行動力をもって環境改善に取り組む心掛けが肝要です。

事業の展開、社会生活に欠かせない大気・水・電力の確保を何をもって確保、生み出すのか企業として一地球市民として更に認識を深め、取捨選択を誤らない行動が必須です。

わが社はEA21活動事務局を中心に会社規模で従業員の意識高揚を図り環境改善・CO2削減に取り組んできました、その成果は全社に刷り込まれ、大きな成果につながってきたと評価しています。社業ではエコ電力の導入、環境配慮車両の導入、廃棄物の削減、更には個々の社員が自意識をしっかりとって地道な環境改善活動・行動が目に見える形で浸透してきた賜物でもあります。

今後も、環境基本方針、新たな活動推進計画に基づき、EA21推進に深く関与し、地域を含めたオピニオンリーダーとして、より一層環境問題に真摯に取り組む姿勢を内外に示していく所存です。

平成30年10月30日  
広和機工株式会社

